

いっぺいといっぱく Vol.54



市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。また、市HP【[によぜがもん](#)】もぜひご覧ください。[市HPのトップページから「[によぜがもん](#)」をクリック。]



思いどおりにならないこと

現代の生活は、スイッチ一つで快適な温度になったり、お風呂が沸いたり、自分の思いどおりになる場面が多いように思います。

一方で、自然は、私達の思いどおりにはなりません。春になれば、誰に頼まれたわけでもないのに桜が咲きますが、いくら私達が「夏に桜が見たい」と願っても、自然の中では咲かせることはできません。また、暮らしの場である地域も、いろいろな価値観を持つ人々がいて、一つのことを決めようとしても、人の数ほど答えがあるような状態で、必ずしも自分の思いどおりに事が進まない場面があるでしょう。

自分の思いどおりにならない自然や地域に身を置くことで、私達は、「自分の思いどおりにならないことがある」と学ぶことができます。

連日のように児童虐待のニュースが報道されています。「泣き止まないから」「言うことを聞かないから」という理由が多いように思います。赤ちゃんが泣くこと、小さな子どもが言うことを聞かないことは当たり前なのに、それが我慢できないのは、子どもの頃から何でもスイッチ一つでやりたいことができる生活で、「自分の思いどおりにならないことがある」ということを学ぶ経験が少ないことも、原因の一つではないかと思えます。

職員とこの話をしたところ、その職員は、テレビで児童虐待のニュースが流れると、「かわいそうだから見たくない」と、チャンネルを変えてしまうそうです。この職員のように、多くの人が「かわいそう」「虐待はいけない」と言いますが、「なぜ、虐待をしてしまうのか」という問題の根本のところまで、思いを巡らせてはいないように思います。

愛・地球博記念公園内において、愛知県がジブリパーク構想を進めています。これを好機と捉え、本市でも、みどりの施策を進めていきます。子どもたちにふるさとの風景を残すとともに、自然を通して自分の思いどおりにならないことがあるということを伝えていきたいのです。



ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付



表紙の写真もう一枚

長久手市消防署と尾三消防本部日進消防署が、連携の強化のために合同消防訓練を実施しました。建物で火災が発生したと想定し、逃げ遅れた人の救助活動や消火活動を、双方で連携して行いました。



スマートフォンでも視聴できます

市政情報番組「Weeklyながくて」の2月26日(月)放送内容で消防の広域化について紹介しています。

